

「養生」ができるおやつ

どのおやつも、おススメどころはワンちゃんでもネコさんでもよく食べる場所です。お薬とはちょっと違うので、うれしそうにしてくれると与える側もうれしいですよ。

①ディアケアリング

おなかを守る鹿肉ジャーキーです。生薬成分が入っていておなかが弱い子にもおススメです。中医学的には脾（おなか）を守ることはとても大事な事なので、おなかが弱くない子でも、様々な養生を支えることにつながります。国産自然食材で作られた食養生のためのおやつです。じゅあくんはこれが大好きです。



②ペットキス

なめるタイプの口腔ケアおやつです。口腔内の善玉菌を増やして歯を守ります。歯磨きグッズが充実しているライオン製品の新しいラインナップの一つです。舐めるだけなので、歯磨きができない子にも使いやすく、歯磨きの代用や、これから歯磨きを練習する子に歯磨き習慣を作るができるなど、便利で安心なお手入れおやつです。余談ですが、口腔内細菌の関係で、人は1日2回歯磨きするのと全く歯磨きしないのでは食道がんのリスクが2.5倍違うそうです。



③ソルトールワン

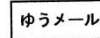
こちらもなめるタイプのおやつです。排塩という新しい思考が活かされている塩分制限のケアのおやつです。シニアの子や心臓病の子の養生に適していると思われるおやつです。わんちゃんネコさんは、人の食べ物で食塩中毒になることがあります。塩分は時に危険因子になりますのでしよっぱいものは盗み食いされないように気を付けましょう。（おつまみなどが習慣的に与えられている子などは注意！）



診察室でのご褒美はどれがいいかな～？

とても多趣味な私ですが、音楽鑑賞もその一つで、最近ではオーケストラにもハマっています。何度かコンサートに行ったことがあるのですが、やはり、生の音がダイレクトに自分の耳に届いた時のあの感動が好きで、定期的にコンサートに行きたくなっています。近々、ディズニークラシックを見に行くので、今からとても楽しみですよ。 片倉

3月1日発売の本「猫柄図鑑」を買いました。毛色の遺伝子や瞳の色についてなど、興味深いことが沢山書かれています。私は三毛猫を飼っているため、三毛猫の秘密の章が読んでいて楽しかったです。この本のおかげでますます猫好きになっちゃいました！ 磯部



ひびき動物病院 かわらばん 2023年3月 第79号



こんにちは。岡田響です。

梅の花があちこちできれいですね。少しずつ日が伸びているのも感じますね。夜は外で発情しているネコが鳴いているのも聞こえます。猫は春先から繁殖時期となる季節繁殖動物で、日長の長さが発情に関係します。同時に換毛の時期にもなっていて、たくさん毛が抜けてる子も多いですね。そんなことから、そろそろ春っぽいなあ、なんて思っていたのですが、あつという間にくしゃみと鼻水が。。。今年も花粉症を発症しました。春ですね。車は花粉だらけになっていました。そういえば今シーズンは冬タイヤの出番がないままでした。

お花が咲くころには、様々な虫たちも活動開始になってきます。我が家のイヌのじゅあく君にも、ノミマダニ予防を早速開始。お散歩の時間は虫の活動時間と重なりやすいのです。ノミは一般的には昼行性と言われ、昼間の活動が多いとされていますが、野生動物がいる場所では、夜間の動物の活動時間に合わせて活動することも知られています。動物が通るところにはいつでもいる、っていうことでしょうか。

3月13日より新型コロナウイルスのマスク着用が個人の判断に委ねるという扱いに変更になります。

当院では、

診察室内では距離が保てない状況で会話を継続しないといけない
診察室内で数人以上の入室になることがある
動物逃走防止のために窓を開けて換気する時間が少ない
なので、

当院の方針として

マスク着用は継続してまいります。
ご来院の際には引き続きマスク着用の継続をお願い致します。
いつもご協力ありがとうございます。

*いつもと違うな？と感じたら、翌日までにご連絡ください。

ひびき動物病院 TEL045-832-0390
〒235-0045 横浜市磯子区洋光台6-2-17-102
午前9～12時 午後4～7時 受付30分前まで 予約制



Instagram



LINE



うちの子エピソード～ニコちゃんが逃げてしまいました～続編

搜索6日目、ペットレスキューの方が来てくださることになり、ポスターを見た方からの情報も少しずつ入るようになりました。確かにニコちゃんに似ていましたが残念ながら違いました。7日目には交通事故で亡くなった猫ちゃんがいたという情報があり、すでに処分されており、ニコちゃんかどうかはわからない状態でした。とても不安になりましたが、一緒に搜索してくださってる方々から励まされ、諦めずに搜索を続けました。



ペットレスキューの方から、これは長期戦になるかもしれませんねと言われた9日目、ついに有力な情報が入りました。カメラを設置したお宅の上に住んでいる方からでした。昨日洗濯物を干していて、下のお家の裏庭にたぬぎがいると思って見ていたら、その子が動いて、鈴の音がした。もしかして探してる猫ちゃんかなって写メを取ろうとスマホを取りに行った間にいなくなってしまうというもの。やはり、あのお宅にいたんだ！首輪に鈴をつけていて良かった！！早速レスキューに連絡。やっと動き出しましたね！と言われ、夜に捕獲器を設置していただき、次の日の早朝に無事保護されました。それにしてもペットレスキューさん凄いです。こちらが獣医であることを言うのがおこがましくなるほど知識と経験をお持ちで、色々教わりました。そしてとても優しい人でした。

10日振りに我が家に戻ったニコちゃん。私たち家族もニコちゃんも興奮。涙涙。怪我もなく、思ったより元気そう。恐怖と寒さと空腹によく耐えてくれた。無事で良かった！すぐに離すとまたパニックになりそうなので、ゲージの中へ。すると凄い勢いで水をガブガブ飲み、ご飯をバクバク食べ、ウンチをして、ミャーミャーと何やら訴えかけました。こんな時はスマホアプリで猫語を翻訳してもらおう！・・・何て言ってたと思いますか？「ほっとかないで！大好きだよー！」って。「ニコちゃん、ごめんねー！私も大好きだよ！！ほっといてないよー！」といったばい、いったばい撫でてあげると、ようやく落ち着いて毛繕いをはじめました。

その後ウンチをチェックするとほとんど食べていないことがわかりました。出たのは草と毛玉。おそらくお腹が空いて、周りに生えていた草を食べ、不安で自分の体を舐めまくっていたのではないのでしょうか。病院で検査をしたら、体重は10日で4.2kgが3.7kgに激減、脱水と軽度肝酵素の上昇が見られたため、1日入院となりましたが、今ではすっかり元気になりました。

今回の事でこの地域の方々の善意と優しさを目の当たりにしました。ニコちゃんが無事に帰って来られたのは皆様のおかげです。本当にありがとうございました。また、ポスティングしてわかったのですが、この地域はアップダウン、階段が非常に多いです。ここから動物病院まで歩いてくださっていることも本当にありがたいです。末尾になりましたが、貴重なお時間を割いて本気で搜索してくださった方々、情報を寄せてくださった皆さま、励ましのお言葉を掛けてくださった人たち、無理を聞いていただきご協力いただいた皆さま、そして、地域猫をよく観察し見守ってくださってる方々に心より御礼申し上げます。私はこの町が大好きになりました。この思いを診療でお返しできればと思っております。私を一回も責めずに一緒に探してくれた家族にも感謝です。

おまけ：ニコちゃんがいなくなっからの犬のじゅあくんはというと、家族を独り占めして伸び伸びしていました。帰ってきた時は、「あっ、帰ってきたのね。」って感じで、遠目で見てる感じがした。。

「未病」と「養生」 ②



「未病」とは「自覚症状はないが検査結果に異常がある状態」と「自覚症状はあるが、検査結果に異常がない状態」の両方を含み、「病氣」とは「自覚症状もあるが検査でも異常がある状態」 前はそういうお話でした。

「養生」とは？元気で良い状態を維持するために、日常生活を健康的に過ごすことをいいます。病氣になったらそれを治療するだけではなく、病氣になりそうなときに悪くならないようにしたり、病氣ではないときから生活習慣を整えておく、とか、病氣から回復した後さらに体力回復・調整を続け、再発防止することも含まれます。具体的には、ペットにストレスを与えないような生活環境や生活習慣、食事や運動などを整えて、漢方やサプリメントなどを必要に応じて足すのも養生の一つです。老化に伴う衰えに対するフォロー＝アンチエイジングも代表的な養生といえます。黄帝内経（中医学の古書）にある人の体の成長老衰過程を犬猫の年齢に換算していくと、おおよそ犬猫は5～6歳がヒトの40歳台となり、そのあたりからのいわゆる成人病がおこりやすく、見た目にはわかりにくいのですが、人と同じように、ちょっとだるいとか、足腰の不調など、未病状態の機会が増えてくると思われるので、養生が開始されるべきタイミングはこのころがいい、と考えられます。

養生とは、このように「未病」状態をなるべく正常に戻していくこと、と理解できません。そのためには、年齢に応じて生活環境や生活習慣を整えることも、合わせて必要となります。例えば人も、アンチエイジングのためには適度な運動が必要ですし、お酒やタバコ、お菓子類などの嗜好品の習慣なども影響が大きい、といえます。漢方薬は養生も得意とするわけなのですが、それだけでは足りない、というのも大事で、何かそれだけをやっておけばいいというわけではない。ということです。これらの中医学の（紀元前からの）経験と知識によるものは大きいと思い、医療に加えて、利用できるものは積極的に取り入れよう、というのが私のスタンスです。養生の効果を経験する子が多くいるので、信頼度は高いほうじゃないかなあと思います。私自身も中高年で、更年期にも向かいますので、漢方や生活改善を色々試しています。

わんちゃんは血液検査と予防準備の時期になりました

毎年の血液検査がまたはじまりました。血液検査は3月から5月の間に受けてください。学術的にフィラリア予防は5月から12月までがこの地域の推奨期間で(やっておけばフィラリアの心配がないので)この期間にしっかり予防をお願いしたいという想いがあります。3月から5月はキャンペーン期間なのでお値段も割安です。(毎年6月から検査の値段が変わります)。血液健康検査を実施して、5月からはフィラリアのお薬予防を開始してください。(3月頃からノミマダニも!)フィラリア健康検査を活用して、わんちゃんの健康状況を確認してあげましょう。6歳まではアダルトセット、7歳からはシニアセットがおおススメです。血液検査の当日は、朝ご飯を抜いてこれると正確な状況がわかります。狂犬病の注射も同日に可能です。役所から届く書類を一緒にお持ちください。

かわらばんやメールなど当院からのお知らせが不要な方はこちらのQRコードスキャン画面よりお知らせください。(HPトップページの下部からも解除画面に行けます)ご連絡いただきましたら速やかに停止させていただきます。

